

## 沖縄県緩和ケア研修会2009（宮古島）進行表

[研修会 1 日目] 平成 2 2 年 2 月 1 4 日（日）

時刻	時刻	時間	内容	場所	講師名	研修内容	詳細
8:00	9:00	60	打ち合わせ				
9:00	9:30	30	受付				
9:30	9:35	5	開会挨拶	全体会場	院長または増田	研修会主催責任者あいさつ	
9:35	9:55	20	プレテスト	全体会場	上田真(中部)	プレテスト 【標準プログラム全般に係るプレテスト】	がん性疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん性疼痛治療法の概略、、がん性疼痛の治療法の実際、呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケア、不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケア、がん医療におけるコミュニケーション技術についてのプレテスト
9:55	10:15	20	Opening Remarks	全体会場	上田真(中部)	Opening Remarks	ワークショップについての説明
10:15	11:00	45	緩和ケア概論	全体会場	増田昌人(琉大)	緩和ケア概論:全人的緩和ケアについての要点・ビデオと講義 【標準プログラム (1)-⑧-ア】	全人的緩和ケアについての要点、について学ぶ
11:00	11:10	10	休憩				
11:10	12:40	90	がん性疼痛の評価と治療	全体会場	伊藤昌徳 (ハートライフ)	がん疼痛講義 【標準プログラム (1)-①】	がん性疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん性疼痛治療法の概略
						がん性疼痛機序、WHO方式治療、専門的治療 【標準プログラム (1)-②】	がん性疼痛の治療法の実際について
						【標準プログラム (1)-⑧-イ】	放射線療法や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点
12:40	13:30	50	昼食				
13:30	13:50	20	アイスブレイキング	グループ室	中村清哉(琉大)	緩和ケアに関して実際の診療で困っていることの表出【標準プログラム (1)】	
13:50	15:20	90	がん性疼痛事例検討	グループ室	中村清哉(琉大)	グループ演習による症例検討 【標準プログラム (1)-③-ア】	グループ演習による症例検討 がん性疼痛を持つ患者の評価及び治療
15:20	15:30	10	休憩			昼食	
15:30	17:00	90	オピオイドを開始するとき	全体会場	笹良剛史 (南部病院)	がん性疼痛に対する治療の実践の演習 【標準プログラム (1)-③-イ】	がん性疼痛に対する治療と処方箋の実際の記載
						ロールプレイ 【標準プログラム (1)-③-ウ】	ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習
							医療用麻薬の誤解を解く
							医療用麻薬の副作用と対策の説明を行う  (オピオイド処方の説明 レスキューの使い方)
17:00	17:10	10	休憩	休憩			
17:10	17:55	45	呼吸困難	講義	栗山登至(アドベ ンチスト)	呼吸困難の評価、緩和ケア(その他の身体症状) 【標準プログラム (1)-④】	呼吸困難の評価、緩和ケアについて学習する

[研修会 2 日目] 平成 2 2 年 2 月 2 8 日 (日)

時刻	時刻	時間	内容	場所	講師名	研修内容	詳細
9:00	9:45	45	消化器症状	講義	友利健彦(北部)	消化器症状等の身体症状に対する緩和ケアについて(その他の身体症状) 【標準プログラム (1)-④】	消化器症状等の身体症状に対する緩和ケアについて学習する
9:45	10:00	15	休憩				
10:00	11:30	90	精神症状	講義	宮川真一 (南部医療センター)	不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケア 【標準プログラム (1)-⑤】	つらさ、精神的な症状に対する基本的な評価と対処法について学ぶ 不安、抑うつへの対応 せん妄への対応
11:30	12:30	60	昼食				
12:30	14:30	120	コミュニケーション	ロールプレイ	高良聖治(琉大)	がん医療におけるコミュニケーション技術についてロールプレイとグループ演習 【標準プログラム (1)-⑦ ア及びイ】	ロールプレイによる①基本のコミュニケーション ②精神保健の専門家へのつなげ方についての演習(医師役、患者役、家族役の3人一組) グループ討論による患者への悪い知らせの伝え方についての検討
14:30	14:40	10	休憩				
14:40	15:40	60	コミュニケーション講義	講義とワークショップ	薬師崇(琉大)	がん医療におけるコミュニケーション技術について【標準プログラム (1)-⑥】	がん医療に必要なコミュニケーションの基本を講義で確認し、悪い例をビデオを見ながら、どのようにしたら良いコミュニケーションになるかを話し合う。
15:40	15:50	10	休憩				
15:50	16:50	60	地域連携と治療・療養の場の選択	グループワーク	笹良剛史 (友愛会)	療養場所の選択と地域連携 【標準プログラム (1)-⑧ ウ及びエ】	住宅を含め望んだ療養場所で療養できるような環境を整えるためにはどうするかを学ぶ
16:50	17:20	30	ふりかえりとポストテスト		中村清哉(琉大)	総括、質問(プレテストの解説含む)	初日に出した実際の診療で困ったことがこの研修で解決できたか振り返りを行い、明日からどう行動するか考える
17:20	17:30	10	閉会挨拶		増田(琉大)	研修主催責任者あいさつ	